

日本航空宇宙学会関西支部 ライト祭 2026のお知らせ

1903年12月17日のライトフライヤー号によるライト兄弟の初飛行を記念して、航空宇宙をテーマに恒例の「ライト祭」を下記の要領で開催いたします。本年は対面とオンラインのハイブリッド形式で開催します。ライト祭への参加には、事前登録が必要です。詳細は関西支部ホームページをご確認ください。高校生、大学生、高専生などの若い世代や一般の方の聴講を歓迎いたします。

主催：日本航空宇宙学会 関西支部

後援：朝日新聞社

日時：2026年12月19日（土）

14:00～17:00

会場：大阪公立大学文化交流センター（梅田サテライト）およびオンライン（Teams）
大阪市北区梅田1-2-2-600 大阪駅前第2ビル6階（TEL：06-6344-5425）



参加費：無料

定員（現地）：120名

定員を超えた場合は、オンラインでご視聴ください。

参加登録：

参加をご希望の方は日本航空宇宙学会関西支部ホームページよりご登録ください。オンライン視聴用URLは参加登録者に後日連絡します。

<https://branch.jsass.or.jp/kansai/>

スケジュール：

14:00～15:00 機器・パネル展示等

15:00～16:00 特別講演 1

16:00～17:00 特別講演 2

特別講演 1：

空飛ぶクルマの現在地と社会実装の行く末
～ポスト万博を見据えて～

株式会社日本政策投資銀行 産業・地域調査部
参事役 岩本 学 氏

大阪・関西万博で注目を集めた空飛ぶクルマは、多くの困難を乗り越えながら、商用サービス開始に向けて着実に歩みを進めています。本講演では、国内外の最新動向を解説するとともに、特に関西地域で進む社会実装の取り組みや今後の展望を解説します。

特別講演 2：

宇宙機搭載レーザーが拓く宇宙デブリ除去と
3次元地球観測

株式会社 Orbital Lasers 技術開発部
CLTO (Chief Laser Technology Officer)
丸山 真幸 氏

宇宙利用の拡大に伴い、スペースデブリ対策と地球観測の高度化が重要な課題となっています。本講演では、Orbital Lasers が開発を進める小型・高効率な宇宙機搭載レーザー技術を基盤に、レーザーによるスペースデブリ除去と衛星 LiDAR を用いた高密度 3次元地球観測の構想を紹介します。レーザー、望遠鏡、受光センサなどの要素技術から宇宙システムとしての実現方法、今後の技術開発および利用展望までを概説します。

問合せ先：

株式会社島津製作所 航空機器事業部
日本航空宇宙学会関西支部 2026 年度事務局
E-mail: jsass_kansai2026@group.shimadzu.co.jp